

認知症に関する活動計画（概要）

香川県作業療法士会では香川県や各市町からの依頼を受け、健康ステーション健康長寿講座や認知症予防講座に継続的な県士会員派遣を行っている。健康ステーション健康長寿講座は、高齢者にかかわる総合的な健康をテーマに行われており、認知症に関するテーマは非常に関心が高く、作業療法士による講座は毎回好評を得ている。人材育成としては、香川県長寿対策課とともに、2016年から認知症初期集中支援員養成事業を、初期集中支援に限らず広く地域実践につなげるため、認知症ケア人材育成研修補助事業として実施している。また、香川県からの委託事業として、3団体協力のもと、認知症予防キャラバン事業として、県民に対する普及と啓発、予防に取り組んでいる。

認知症ケア人材育成研修補助事業

県から地域医療介護総合確保基金事業として補助を受けてWeb研修会を実施している。理論に基づいた実践につなげられるよう、直近では人間作業モデルから認知症を考える研修会を行った。今後も創意工夫しながら進めていく予定である。



健康ステーション健康長寿講座

高松市からの依頼で、高松市健康ステーションにおいて、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等の専門職が健康・介護予防に関する講座をおこなっている。毎年、OTは認知症講座を担当している。参加者からは「とても分かりやすかったです。熱心に教えていただきました。」「適宜体操をしたりコントが入ったりで楽しく受講できました。」などの声を頂いている。



認知症予防キャラバン事業

香川県からの委託事業として作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会のリハ3団体で協力して「認知症予防キャラバン事業」を実施している。地域の自治会や老人会から74件の依頼があり、80名の講師を派遣、延べ1,136名の県民の皆さまに参加いただいた。座学と運動でおおよそ1時間程度の内容で、参加者からは認知症予防に「運動」「栄養」「社会参加」の大切さが理解できたと大変好評である。今年度も80件前後の派遣を予定している。

